

2016年1月14日(土)

ジェネラリスト・ケアワーカー養成講座にお越しになったみなさんへ

有限会社しえあーど NPO 法人地域生活を考えよーかい

李 国本 修慈

千葉市及び近隣市町村のみなさん、はじめまして(たぶん^^);。今回は私(なんぞ)も少しお話しさせていただくということですのでよろしく願いいたします。

「ジェネラリスト・ケアワーカー」(という言葉もあまり聞き慣れないのですが)の養成が目的という事で、尚更私の話で良いのだろうか?という感があるのですが、広範な知識以上に意識が必要ということも含めて、また、専門性(なんぞ)を超えるモノを感じ合えたり、何を持って「連携」といえる(捉える)のか?等々、私自身も良く解らないコトをみなさんと一緒に考えることができればと願っています。

と、流行言葉の様に言われる「多職種(専門職)連携」における「介護福祉士(ヘルパー、古くは介護人等とも言われていました)の役割」は(特に医療等との関わりの中で)重要だと(私も)思える中、みなさん(介護福祉士といわれる方々)のアイデンティティのようなモノを更に明確にできればと思ったりもします。でも、そんなことよりも大切なコト・モノを感じていただければと(も)思っています。

で、私のお話しの内容は、「暮らす・生きるということ」(大袈裟ですね、かなり^^);、「連携(ネットワーク)の意味」(たぶん解り難く、正解ではないようなコトをお伝えするのかもしれない、すいません)、「居る(「おる」と読みます^^)ことの意味」(存在の価値等ともいいます)といった3つのテーマでお話しできればと思っています。

みなさんは年末・年始をどう過ごしましたでしょうか?。私は仲良くさせていただいている方々と大晦日から三が日は飲み食いしまくりました。貧困だとか年末・年始を路上等で過ごされる方々がいらっしゃる中、なんとも裕福・贅沢な…と自戒したりもします。

その反面、毎年のお正月(あるいは年賀状等)に交わす言葉「おめでとうございます」…が、なかなかすっきりと出てこない(言葉として出し難い)現状があったりもします。と言うのは、私自身が少なからず(結構な数の)、例えば「重症心身障害」だとか「超重症児」等といわれる方々とのお付き合いがありまして、毎年のように数名から十数名の方々とのお別れがあったりするので…です(毎年喪中みたいな…)。

それでも「生きることや暮らすこととは?」と問われれば、私は「大好きな人たちと呑んでくれるコト」と答える(あるいは答えたい)でしょうし、もっと端的に「息すること(一緒に)」(まさに息することに莫大なエネルギーを注ぎながら暮らしてらっしゃる方も居ますので)と言いたかったり(少しカッコつけてますね)します。そんなところから「命」や「暮らし」、あるいは「地域」や「社会」について考えていければと思います。

つづいて「連携」(ネットワーク)の意味についても、冒頭にも記しました「多職種」や「多機能」、あるいは「専門性」や「包括支援」、更には「計画相談」だとか「意思決定支援」なんぞについても少しばかり(できれば「?」を加えながら)考えていければと思っています。

そして「居る(おる)」ことの意味について…、おそらくこのことが最も重要なのかと思うのですが、私たち福祉だとか医療だとかに関わる人たち(支援者等とも言ったり言われたりしますが)、とっても優しい方々が多いのでしょうか(たぶん^^);、関わる人たちのことを「変えよう」(大袈裟に言うと「良くする」とか、支援者の思う「普通に」だとかに)としがちだったりするのですが…。多くの(あるいは全ての?)人々(特に障害者等といわれる方々)は他者(支援者等)に「託されて」「護られて」(のみ)生きる(あるいは生かされる)存在なんですか?…ということだとか、私たちが言う「ネットワーク」や「支援(の輪)」なんてのは、どんなカタチをしているのだろうか?…ということ等も考えていきたいものです。

そー思うと私は、「連携」よりも「弁慶」(これは単なる駄洒落=オヤジギャグ)…というよりも(ではなくって)、河内のおっさん(知らない人は調べてください^^);が連呼する「やんけ〜」「そやんけ〜」かなっ!と思ってしまう訳です。

1990年代から続く基礎構造改革とやらの流れの中で、本当に大切なモノを今こそ感じられればと思ったりです。

変わるもの、変わらざるを得ないもの、変わらんモノ、変えてはいけないモノ…、等々を考えながら、私たち自身に、関わらせていただく方々に向けて問いかけたいものです。

「あなたの地域(社会)は何処ですか?」「彼女・彼らの地域(社会)は此処ですか?」と。

どんどん嵌っていく(嵌められていく)流れに身を委ねながらも、「変える」「避ける」「逃げる」ことを堂々で行える社会であってほしい(あらねば)と思っただけです。

そんなんで、よろしくお願ひいたします。

<http://www.kangaeyo-kai.net/>

ラー!!

